

令和元年10月12日（土）から13日（日）の2日間、山口県セミナーパークで、第16回Young Scientist Seminar (16th YSS)を開催しました。今年は本学工学部の学生さんを中心に実行委員会（実行委員長：佐伯英哉さん、創成科学研究科修士2年生）を組織し、周到に準備を進めてきました。

今回は、日本・タイ・ベトナム・インドネシア・バングラデシュ・ラオス・台湾の7か国から大学生及び大学院生を含む若手研究者総勢66名（留学生を含む外国人若手研究者33名）の参加がありました。山田守先生（本学創成科学研究科）による開会挨拶の後、Sureewan Sittijunda先生（Mahidol大学、タイ）による基調講演が行われました。また、Nittaya Pitiwittayakul先生（Rajamangala工科大学、タイ）、佐々木一紀先生（本学創成科学研究科）、杉本貢一先生（本学研究推進機構）による招待講演があり、若手研究者との間で活発な議論が行われました。グループ討議では、若手研究者が6つのグループに分かれて英語で口頭発表と研究討議を行いました。参加した若手研究者は、微生物学・応用微生物学・生物工学・環境工学を中心に生物関連分野から集まっており、48題の口頭発表がありました。このグループ討議において各グループから選出された優秀発表者6名は2日目の全体集会で再度口頭発表を行い、Chulalongkorn大学（タイ）のNicha Maneesilasanさんと山口大学のAtin NuryadinさんがBest Presentation Awardを獲得し、今井剛先生（本学創成科学研究科）から賞状ならびに記念品が手渡されました。

